

1. 評価結果概要表

平成 20年 9月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	2071100305		
法人名	有限会社 カインズ・ライフ		
事業所名	グループホーム なかの		
所在地	中野市岩船292-1 (電話) 0269-23-2200		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年9月18日	評価確定日	平成20年10月27日

【情報提供票より】( 20年 8月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 12月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤13人	非常勤8人 常勤換算13.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1・2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 <small>入居後1年以内の退居の場合、月割りして返済する。</small>	有りの場合 償却の有無	有 期限:1年間
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,500 円

(4) 利用者の概要 ( 8月 1日 現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	6名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	5名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 84.5 歳	最低	73 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医) アライクリニック 北信総合病院 (医) 岩下歯科医院
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周囲に民家や果樹農家、工場等があり、土地柄大変人情味豊かな人間関係に恵まれ、家族の温もりが伝わってくるような環境の中に「グループホームなかの」があります。ホーム創設にあたり施設長が探し求めていた地域環境の中で、長年培って来られた経験と専門性を活かしグループホームを開設して3年が経過し、地域密着型サービスに向けた取り組みの積み重ねによりホーム機能も充実しつつある。開設以来、市担当職員の熱心な指導と運営推進会議において課題解決に向けた継続的な検討が図られている。地域密着型サービスとしての特徴が組み入れられたホーム理念を職員全員で唱和し、ケアサービスの質の向上に取り組まれている。入居者本位の支援と馴染みの職員による継続的な支援により、入居者の安定した生活の確保が得られ明るく穏やかに過ごされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題であった「職員の異動等による影響への配慮」については、職員交代時には引継ぎに1~2ヶ月かけ新任職員への情報伝達を行う等、職員の異動等の影響への配慮が図られた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義や目的を職員全員で理解し、評価担当責任者を決め職員全員で話し合い自己評価が行われている。職員一人ひとりの意識の向上が図られ、ケアサービスの質の向上に取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には、ご家族代表、区長、民生児童委員、市担当職員等幅広い立場の方々に参加し、入居者の現況や活動状況をお知らせすると共に、その都度テーマ(地域貢献について、ボランティア受入れの報告、防災訓練について等)を検討して頂きテーマに沿って話し合いが持たれている。今後更に、自己・外部評価結果報告書を提示してホーム課題解決に向けた取り組みを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族の意見・苦情の受け入れ先は、利用開始時に説明される他、ホーム玄関に意見箱を設置している。毎月ホーム便りと共に、担当職員よりのコメント(ホームでの暮らしぶりを記載)を添付して送付されている。なお家族会や運営推進会議に出されたご家族の意見や要望は職員間で検討し、ご家族への説明やホーム機能に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域で行われる、ふれあいサロン・餅つき・村の祭りや短歌会に積極的に参加されると共に、ボランティアの受入れや小学校との交流に努められている。散歩時に行き交う方々への挨拶やホームで入居者とつくられた「おやきやおはぎ」を近所に配られたりと地域との関係づくりに努められている。地域住民の一員として地域との連携を密にして、地域と支え、支えられる関係づくりに向けた取り組みを期待します。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての特徴が組み入れられた理念「地域の方々と交流を大切に、お互いの関係を深め、利用者の方々がその人らしく普通に地域の中で暮らし続けることを支援します。」を職員と共に作りあげられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念を玄関に掲示して、入居者・ご家族・訪問者・職員が何時でも閲覧できると共に、朝のミーティング時に全職員で唱和し日々の実践の中で活かす取り組みが行われている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事「ふれあいサロン・餅つき・村の祭り」や短歌会等に積極的に参加されると共に、ボランティアの受け入れや小学校との交流に努められている。なお散歩のおりに行き交う方々への挨拶や、ホームで入居者とつくられた「おやきやおはぎ」を近所へ配られたりと地域との信頼に向けた関係づくりに努められている。		ホームも地域住民の一員として、地域に溶け込み地元活動への参加や多様な地域資源の活用と共に、長年の経験より得られた認知症ケアの実践の還元等、地域と支え、支えられる関係づくりに向けた取り組みに期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義を全職員が理解し、評価担当責任者を決め職員全員で話し合い自己評価が行われている。なお運営者も協力し、サービス評価を活かし確実な質の向上に取り組まれている。		

グループホームなかの

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を概ね2ヶ月に1回の頻度で開催し、出席者(ご家族代表、区長、民生委員、市担当課職員、管理者等)多数によりテーマを決められ話し合われている。なおホームの活動状況や外部評価結果の報告を行い出席者より意見を拝聴されている。会議より得られた意見を基に全職員で話し合い、ケアサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		<p>運営推進会議に継続懸案事項となっている防災訓練についてホームの災害時対策に関する理解を深め、地域の協力体制を築かれることが望まれます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>開所以来、市担当職員が相談に応じてくださっており必要時には適切な指導が得られている。なお2ヶ月に1回の頻度で介護相談員が来訪され適切な意見をいただきサービスの向上に繋げている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族がホームへ訪問時(家族会・面会時等)に入居者の近況説明をすると共に、毎月のホーム便り「なかの通信」には異動職員の紹介も載せられている。送付の際に担当者よりのコメントを添付されている。なお状態変化が見られた折には、速やかに電話連絡等による報告もされている。金銭管理についても毎月小遣い帳のコピーを送付し適切に報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族面会時に現況報告や意見・要望を聞く努力をされると共に、家族会において個別に拝聴し、介護相談員制度についての説明をされている。出された意見や要望については職員会で話し合われ、入居者のサービスに反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は入居者と職員の馴染みの関係を重視されており、職員交代時には引継ぎに1~2ヶ月かけ新任職員へ情報伝達を行う等、異動等の影響への配慮が図られている。</p>		

グループホームなかの

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や習熟度に応じて、段階的に外部研修に参加されている。会議時において研修報告を行い職員全員に周知されている。なおホーム内研修もあり質の確保と向上に取り組まれている。		年間の研修計画を立て、限られた職員体制の中で実務に支障を来さないように、全職員が目標を持って研修に参加できる機会を確保されることを望みます。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	加盟している長野県宅老所・グループホーム連絡会を通じ、広域圏内のグループホームとの交流会を持ち、相互訪問計画を検討されている事を伺った。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	馴染みながらのホーム入居に向けて、入居予定者、ご家族にホーム見学を実施されている。職員による入居予定者の視点に立った話し合いやホーム内の雰囲気を感じて頂く等、安心と納得を大切にされた支援に努められている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	馴れ親しんだ地域で暮らし合う中、入居者とじっくり話し合い入居者の思いや苦しみ、不安、喜びを察知し、共に支え合える関係の構築に配慮し支援されている。		

グループホームなかの

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は入居者の生活暦の把握に努めると共に、入居者一人ひとりの思い、希望、意向の把握に努められ、その人らしい生活支援ができる視点を持たれ常に入居者本位の日常生活が営めるよう心配りをし検討されている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員で入居者の状況「本人の困っていることは何か」を把握し、情報を確認してカンファレンスに活かされている。入居者やご家族の思いや、意向を取り入れた入居者本位の介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的(概ね6ヶ月に1回)な見直しや職員が入居者、ご家族の要望に応じ見直しが行われている。状態変化が見られた時には現状に即した随時の見直しが行われている。</p>		<p>入居者一人ひとりのきめ細かいケアを本来の役割とされているホームでは、何ら状態変化が見られなくても最低3ヶ月に1回程度の見直しが望まれます。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々のご要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>認知症の進行により重度化して行く状況の中で入居者、ご家族と相談をしながら、通院の支援、外出の支援、入院時の衣類の洗濯など、必要なサービスを臨機応変かつ柔軟に支援されている。</p>		

グループホームなかの

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者、ご家族が希望のかかりつけ医への受診支援が行われている。なお変更される場合は、入居者、ご家族と相談の上決められている。なお主治医との連絡や連携を図ると共に、協力医療機関や協力歯科医療機関との連携を密に取り、適切な診療が受けられるよう支援がされている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>グループホームでは、ターミナル(終身)ケアまで行うことを基本とされており、入居者の希望に沿った支援に向けご家族、主治医、職員と話し合いを持ち、方針の共有が図られると共に、状態変化に備えての検討や準備が行われている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員全員がプライバシー保護に関する個人情報保護法について理解されており、入居者の尊厳を保持しつつ入居者一人ひとりに合った言葉掛けに配慮されている。(トイレ誘導の折にもさり気ない支援が行われている)なお個人情報に繋がる書類管理も適切におこなわれ、秘密保持の徹底が図られている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れはあるものの、入居者の希望を聞きながら食事、会話等、一人ひとりのペースに合わせた柔軟な支援が行われている。</p>		

グループホームなかの

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事に関する一連の作業(調理・盛り付け・配膳・片付け等)を職員と一緒にいき、同じテーブルで思い思いの会話による楽しい雰囲気でおさまっている。時には昔馴染のおやき、おはぎ、ヤショウマ等を作られ楽しまれている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日を決めず、入居者の希望に沿った入浴支援が行われている。入居者の希望により毎日入浴される方もいることを伺った。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの力量や過去の経験を活かし、役割や楽しみ事の場面づくりに配慮されている。(食事の準備、掃除、短歌会参加、入院家族への訪問支援等)また散歩や外食、地域の行事等へ出かけられると等により気晴らしの支援に努められている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>馴れ親しんだ地域で暮らし続けるために、入居者の希望に沿って散歩や買い物、外食等の支援や季節には桜・バラの花見に出かけられている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は日々入居者の状態変化に留意して安全への配慮により自由な暮らしへの支援が行われている。日中は居室や玄関には施錠がされていない。</p>		

グループホームなかの

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署協力の下、年2回の避難訓練を実施されている。運営推進会議においてホームの災害時対策に関する理解を求め、地域の協力体制に向けた話合いが行われている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の身体状況や嗜好を把握されており、好みの食材や馴染みの食材を取り入れながら、栄養摂取ができるよう支援をされている。なお毎日の食事と水分摂取量を記録し、職員が情報を共有し安定した食生活の支援に努められている。</p>		<p>バランスの良い食生活に向けて、定期的に栄養士や保健師等によるチェックを受けられることを望みます。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関にはベンチを配置し、入居者が外出から帰ったときに「ホッと一休み」できる配慮が伺える。また居間には小上がりの和室が設けられて書棚が置かれ、昔馴染の品々が飾られ安らぎの空間になっていると共に、ゆったりと思いきいの形態で休んだり、談話ができる仕様が随所に見られる。台所より調理音と食材の炊ける匂いや心地よい音楽が流れ生活感を肌で感じ、居心地良く過ごせる共用空間となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に入居者が馴染み親しんでこられた品々(タンス・衣類・テレビ・冷蔵庫・位牌等)が持ち込まれている。なお思い出の家族写真や装飾品が飾られると共に使い慣れた日用品が用意され、安心して暮らし続けることのできる居室づくりがされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。